

科目名		施工方法			
担当教員		清野 貴久	実務授業の有無	○	
対象学科	電気電子工学科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	20時間
授業概要、目的、授業の進め方	一般用電気工作物の屋内配線工事で施設場所に応じた工事方法を学ぶ。				
学習目標 (到達目標)	各種工事の施行方法の理解。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	2020版2級電気工事施工管理技術検定試験問題解説集録版、配布プリント 他				
NO.	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	ケーブル配線工事		ケーブルの種類と用途、施設場所に応じた選定と工事方法。ケーブル支持材、端末処理など。		
2	金属管工事		金属管の種類と用途、施設場所に応じた選定と工事方法。管の支持、ボックスとの接続など。		
3	合成樹脂管工事		可とうを含む、合成樹脂管の種類と用途、施設場所に応じた選定と工事方法。管の支持、ボックスとの接続など。		
4	引込口諸工事		引込線及び引込口配線、分電盤の施工方法を学ぶ。		
5	器具などの取り付け		屋内配線工事に使用する配線器具の取り付け方法を学ぶ。		
6	電動機配線工事		電動機と電磁開閉器の施工方法を学ぶ。		
7	各種ダクト工事		金属ダクト、フロアダクト、ライディングダクトを学ぶ。		
8	特殊施設の工事		危険な特殊場所の施行方法を学ぶ。		
9					
10					
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
平常点	課題	期末試験			
5 %	15 %	20 %	%	電気工事士筆記試験の施行方法分野の問題が解ける。	
成績評価基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴		電気技術者として4年の実務 第1種電気工事士			